



はぐくみ通信

地域社会全体の教育力向上を

子どもたちの健やかな成長には、地域全体ではぐくんでいこうとする意識や環境づくりが大切です。120号では、今年度、中丹教育局が実施した研修会や研究協議会の様子を紹介します。参考にさせていただき、学校や各市における研修等につなげていただければと思います。

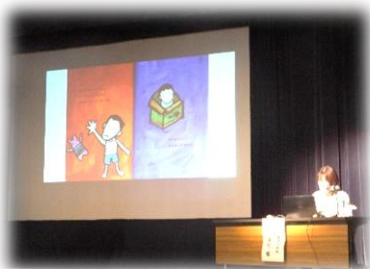
地域の子育て指導者研修会

児童・生徒の安心・安全な放課後等の居場所づくりや、多様な体験・活動を行うことができる環境づくりを推進することをねらい、放課後児童クラブの関係者を中心に、児童理解と活動支援の面から学びを深めるとともに、それぞれの所属での実践について交流しました。

児童理解について

10月10日(木)

場所：綾部市中央公民館



講演

「特別支援教育の視点を生かした子どもとのかかわり方」

綾部市立綾部小学校 教諭 山内 英代 様

講演概要

発達障害について、それぞれの行動特性を知るとともに具体的な支援方法について学ぶ。

参加者の感想

具体的な支援方法について、いろいろ参考になることを教えていただきました。学校の専門知識と放課後児童クラブの送り迎えなどで聞かせてもらえる保護者の声をつなげることを意識し、もっと連携をとることができれば、理想的な子どもの居場所の実現へ近づくのでは、子育てしやすい町になるのではと思いました。

活動支援について

11月20日(水)

場所：綾部市中央公民館

講座

「本と親しむ楽しい時間 ～読みきかせや選書のポイント～」

福知山市立図書館中央館読書サービス係長兼三和分館長 塩見 留美 様

講座概要

読書活動の充実に向けて、「絵本と工作をつなげる工夫」、「本の持ち方や見せ方の注意点」、「選書のポイント」等、読みきかせのテクニックについて学ぶ。



参加者の感想

工作をすることで、興味を持たせながら本につなげていくことや本の内容から疑問を持つことで世界が広がるのが分かり、本日の研修はとても参考になりました。さっそくお楽しみ会の時に活用させていただき、子どもたちと盛り上がりたいと思います。お楽しみ会の時は、子どもが本(紙芝居)を読むのですが、今回の読み聞かせのポイントをしっかりと伝え、上手に読んでもらいたいと思っています。

人権教育行政担当者等研究協議会

講演やフィールドワークを通して、人権問題についての理解と認識を深めるとともに、研究協議を通して管内3市それぞれの取組や実態について交流しました。

第1回研究協議会

8月5日(月) 場所：京都府綾部総合庁舎



講演

「今日的な人権問題について ～人権啓発の現場から～」
京都府文化生活部人権啓発推進室長 浅野 浩司 様

講演のねらい

今日的な人権問題に関わる講義を通して、それぞれの人権問題についての正しい理解と認識を深め、課題解決の方策について学ぶ。

参加者の感想

今日的な人権問題はいくつもありますが、特に「ジェンダーに関する問題」については、ようやく議論ができるようになった課題だと感じています。おかしいと気付き、声を上げることで議論になり、世の中全体の行動が変わっていくことで、課題の解決につながっていきます。そうなるためにも、まず、気付くことが大切で、おかしいと感じる人権感覚を磨くことが人権教育を推進する第一歩であると感じました。

第2回研究協議会 フィールドワーク

10月17日(木) 場所：世界人権問題研究センター

講義 & フィールドワーク

「京都芸大・世人研 崇仁移転の意義」

世界人権問題研究センター前常務理事兼事務局長 淀野 実 様

講義のねらい

「崇仁地区の歴史」と「地域と行政が一体となったまちづくり」について学ぶ。

フィールドワークのねらい

京都市立芸術大学の移転など、大きな変化を見せている地域一帯の現在の様子を見学する。



参加者の感想

差別の解消に向けて取り組んでこられた方々の熱い想いが伝わってくるような講義で、大学移転の意義、受け入れ側の住民の方々の考える価値、一つ一つがよい学びとなりました。まちづくりに対する行政の役割についても考えさせられる大変よい研修でした。

第3回研究協議会

12月12日(木) 場所：京都府綾部総合庁舎



講演

「多様な性への理解と暮らしやすい地域づくりについて」

Tsunagary オフィス合同会社 COO 阪部 すみと 様

講演のねらい

性的マイノリティ当事者の思いを聞くことを通して、多様な性の在り方についての理解を深め、誰もが暮らしやすい地域づくりの推進へとつなげる。

参加者の感想

誰もが暮らしやすい社会を作るためには、当事者がどういった困り感を持っているのか、どういったことを願っているのかに耳を傾け、一緒に考えていくことの重要性を感じました。法や環境の整備などの課題も多いですが、まずは私自身が多様な性の在り方について正しい理解を深め、意識を高く持とうと思いました。